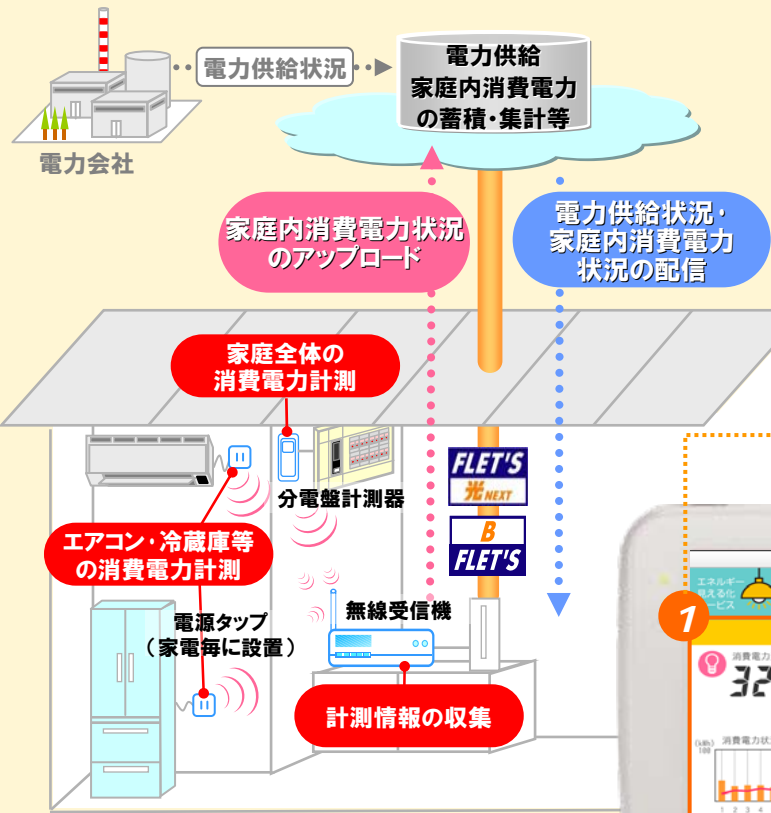


8. エネルギーの見える化と家庭内のICT化推進

- 今夏の電力不足に対する節電意識が高まる中、電力会社の供給電力や、「分電盤計測器」「電源タップ」から収集する家庭内の消費電力状況をサーバに蓄積し、光iフレーム等により見える化。
- H23. 7月より、2, 000世帯のユーザに先行提供を開始。
- 今後、ホームゲートウェイを活用し、太陽光発電も含めたエネルギーの見える化、家電のコントロール等、更なる家庭内のICT化を目指す。

エネルギーの見える化

家庭内のICT化イメージ



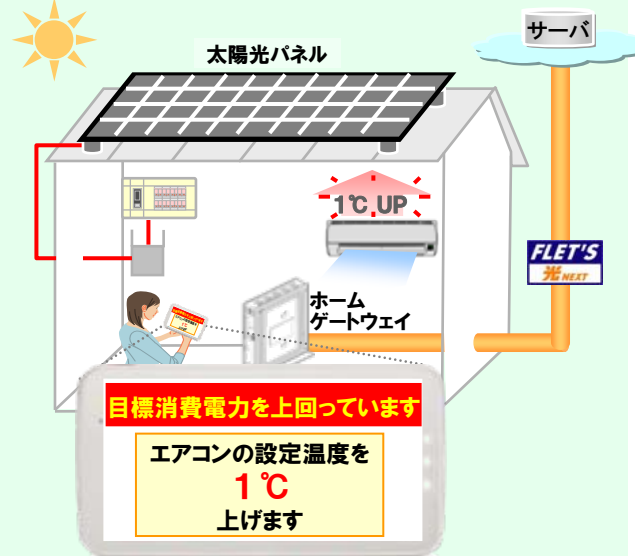
- 1 家庭内で使用している消費電力量を時系列で表示
※詳細画面では家電単位、月・日・時間単位にも把握可能
- 2 電力会社から配信される電力供給状況を表示
- 3 節電を呼びかけるメッセージを表示
ex.「エアコンの設定温度を上げましょう」等

《光iフレーム表示イメージ》



更なるエネルギーの見える化

家庭内の消費電力状況に加え、太陽光発電による発電量等の情報を表示



予め設定した目標に基づき、家庭内のエネルギーコントロールを自動で実現

家電のコントロール

※画面は開発中のイメージです。